

標 題

ソ連抑留中死亡者遺骨の伝達について

(概 要)

平成 13 年 7 月、政府派遣の遺骨収集団により、ロシア連邦チタ州第 515 労働大隊埋葬地から帰還した御遺骨 203 柱のうち 1 柱が、DNA 鑑定の結果、本県出身者であることが特定された旨、厚生労働省から通知がありました。

御遺骨は、6 月 20 日(火曜日)死亡者の生家において、高齢対策課長から伝達します。

1 抑留中死亡者

- (1) 氏名 平田 春吉 (ひらた はるきち 大正 11 年 4 月 20 日生)
- (2) 本籍 栃木県
- (3) 所属部隊 独立歩兵第 204 大隊
- (4) 階級 伍長
- (5) 死亡時年齢 25 歳 (昭和 23 年 3 月 30 日死亡)
- (6) 死亡場所 チタ州ヒローク地区ハラグン村

2 遺骨受領者

- (1) 氏名 平田 廣 (ひらた ひろし)
- (2) 続柄 甥

3 伝達日時・場所

- (1) 日時 6 月 20 日 (火曜日) 13 時 30 分頃
- (2) 場所 死亡者の生家

4 参考

国費による DNA 鑑定は平成 15 年度から導入された。本県における遺骨伝達は今回で 15 柱目となる。(※他県居住遺族への伝達 1 件を除く。)

H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
-	1 柱	3 柱	3 柱	-	1 柱	2 柱

H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	合計
2 柱	-	-	1 柱	-	1 柱	-	14 柱

所管課	発表者		担当者		
	職名	氏名	職名	氏名	電話
高齢対策課			副主幹(GL)	杉田真理子	028-623-3054